

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 香川県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	丸亀病院	3
-	白鳥病院	4
高松市	みんなの病院	5
高松市	市民病院塩江分院	6
坂出市	市立病院	7
さぬき市	さぬき市民病院	8
三豊市	永康病院	9
三豊市	西香川病院	10
土庄町	国保土庄中央病院	11
小豆島町	内海病院	12
綾川町	綾川町国民健康保険陶病院	13
三豊総合病院企業団	三豊総合病院	14
小豆島中央病院企業団	小豆島中央病院	15

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	香川県
				市町村・組合名	
				病院名	中央病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	47,038 m ²	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
診療科数	33	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	526	80.5	81.5	80.1
療養	-	-	-	-
結核	5	13.8	12.9	20.2
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	533	79.6	80.5	79.3
平均在院日数(一般病床のみ)		10.1	10.4	10.6

設立団体の状況		
人口(人)	976,263	
決算規模(千円)	436,102,474	
標準財政規模(千円)	258,631,154	
財政力指数	0.49002	
経常収支比率(%)	96.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	202.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	85.9
修正医業収益(千円)	18,982,079

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	22,340,283			
1 経常収益	22,336,352			
(1) 医業収益	19,386,900			
入院収益	12,493,930			
外来収益	5,844,269			
診療収入計	18,338,199			
その他医業収益	1,048,701			
(うち他会計負担金)	404,821			
(2) 医業外収益	2,949,452			
(うち国・都道府県補助金)	185,347			
(うち他会計補助・負担金)	1,623,550			
(うち長期前受金戻入)	636,472			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,931			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	23,119,030			
2 経常費用	23,099,174			
(1) 医業費用	22,093,780			
職員給与費	9,679,850	49.9	55.7	49.1
材料費	6,525,269	33.7	24.7	29.1
(うち薬品費)	2,833,320	14.6	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	3,688,573	19.0	11.0	12.7
減価償却費	1,722,544	8.9	9.0	8.4
経費	4,052,684	20.9	23.3	20.7
(うち委託料)	1,650,986	8.5	11.5	11.6
研究研修費	98,917			
資産減耗費	14,516			
(2) 医業外費用	1,005,394			
(うち支払利息)	214,735	1.1	1.4	1.2
(3) 特別損失	19,856			
損益				
経常損益	-762,822			
純損益	-778,747			
累積欠損金	111,478			
経常収支比率	96.7		97.7	98.8
医業収支比率	87.7		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	9.1		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	10.5		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	9.1		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	87.9		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	27,799,390
1 固定資産	21,621,602
(1) 有形固定資産	20,599,909
(2) 無形固定資産	5,035
(3) 投資その他の資産	1,016,658
2 流動資産	6,177,788
(1) 現金及び預金	2,226,250
(2) 未収金及び未収収益	3,664,420
(3) 貸倒引当金()	31,413
(4) 貯蔵品	300,919
3 繰延資産	-
負債合計	27,315,890
1 固定負債	20,622,725
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,994,821
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	253,251
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,370,026
(7) リース債務	4,627
2 流動負債	4,259,874
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,222,579
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	96,233
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	808,977
(6) リース債務	8,767
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,008,738
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,433,291
(1) 長期前受金	8,498,809
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,065,518
資本合計	483,500
1 資本金	6,176,539
2 剰余金	-5,693,039
(1) 資本剰余金	175,141
(2) 利益剰余金	-5,868,180
負債・資本合計	27,799,390
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,233,401	2,028,371
資本勘定繰入	332,390	374,844
計	2,565,791	2,403,215

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	26.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	香川県
		市町村・組合名	
		病院名	丸亀病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	16,946 m ²	指定病院の状況	臨感 輪
診療科数	6	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	215	44.4	49.0	48.6
感染症	-	-	-	-
計	215	44.4	49.0	48.6
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	976,263	
決算規模(千円)	436,102,474	
標準財政規模(千円)	258,631,154	
財政力指数	0.49002	
経常収支比率(%)	96.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	202.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	54.7
修正医業収益(千円)	926,840

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,551,819			
1 経常収益	1,551,579			
(1) 医業収益	946,354			
入院収益	590,381			
外来収益	310,339			
診療収入計	900,720			
その他医業収益	45,634			
(うち他会計負担金)	19,514			
(2) 医業外収益	605,225			
(うち国・都道府県補助金)	226			
(うち他会計補助・負担金)	558,602			
(うち長期前受金戻入)	37,662			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	240			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,735,934			
2 経常費用	1,734,538			
(1) 医業費用	1,695,684			
職員給与費	1,030,371	108.9	55.7	98.9
材料費	177,153	18.7	24.7	8.8
(うち薬品費)	165,488	17.5	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	10,852	1.1	11.0	1.1
減価償却費	97,857	10.3	9.0	12.7
経費	387,443	40.9	23.3	34.6
(うち委託料)	145,030	15.3	11.5	17.1
研究研修費	2,576			
資産減耗費	284			
(2) 医業外費用	38,854			
(うち支払利息)	1,331	0.1	1.4	2.9
(3) 特別損失	1,396			
損益				
経常損益	-182,959			
純損益	-184,115			
累積欠損金	3,703,780			
経常収支比率	89.5		97.7	98.9
医業収支比率	55.8		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	37.3		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	61.1		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	37.3		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	56.1		85.7	64.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	27,799,390
1 固定資産	21,621,602
(1) 有形固定資産	20,599,909
(2) 無形固定資産	5,035
(3) 投資その他の資産	1,016,658
2 流動資産	6,177,788
(1) 現金及び預金	2,226,250
(2) 未収金及び未収収益	3,664,420
(3) 貸倒引当金()	31,413
(4) 貯蔵品	300,919
3 繰延資産	-
負債合計	27,315,890
1 固定負債	20,622,725
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,994,821
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	253,251
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,370,026
(7) リース債務	4,627
2 流動負債	4,259,874
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,222,579
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	96,233
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	808,977
(6) リース債務	8,767
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,008,738
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,433,291
(1) 長期前受金	8,498,809
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,065,518
資本合計	483,500
1 資本金	6,176,539
2 剰余金	-5,693,039
(1) 資本剰余金	175,141
(2) 利益剰余金	-5,868,180
負債・資本合計	27,799,390
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	760,219	578,116
資本勘定繰入	27,932	31,768
計	788,151	609,884

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	26.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	香川県
				市町村・組合名	
				病院名	白鳥病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,342 m ²	指定病院の状況	救臨	へ	輪
診療科数	13	看護配置	10	:	1
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	150	61.9	66.7	69.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	61.9	66.7	69.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.9	19.5	18.0

設立団体の状況		
人口(人)	976,263	
決算規模(千円)	436,102,474	
標準財政規模(千円)	258,631,154	
財政力指数	0.49002	
経常収支比率(%)	96.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	202.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	75.6
修正医業収益(千円)	2,206,178

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,655,598			
1 経常収益	2,652,791			
(1) 医業収益	2,257,269			
入院収益	1,427,769			
外来収益	715,375			
診療収入計	2,143,144			
その他医業収益	114,125			
(うち他会計負担金)	51,091			
(2) 医業外収益	395,522			
(うち国・都道府県補助金)	10,802			
(うち他会計補助・負担金)	239,963			
(うち長期前受金戻入)	131,251			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,807			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,054,558			
2 経常費用	3,053,369			
(1) 医業費用	2,919,874			
職員給与費	1,436,547	63.6	55.7	61.3
材料費	503,500	22.3	24.7	17.6
(うち薬品費)	167,233	7.4	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	335,896	14.9	11.0	8.2
減価償却費	260,775	11.6	9.0	10.2
経費	708,256	31.4	23.3	30.5
(うち委託料)	276,400	12.2	11.5	13.0
研究研修費	7,053			
資産減耗費	3,743			
(2) 医業外費用	133,495			
(うち支払利息)	51,088	2.3	1.4	1.6
(3) 特別損失	1,189			
損益				
経常損益	-400,578			
純損益	-398,960			
累積欠損金	2,052,922			
経常収支比率	86.9		97.7	96.5
医業収支比率	77.3		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	11.0		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	12.9		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	11.0		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	77.3		85.7	80.7

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	27,799,390
1 固定資産	21,621,602
(1) 有形固定資産	20,599,909
(2) 無形固定資産	5,035
(3) 投資その他の資産	1,016,658
2 流動資産	6,177,788
(1) 現金及び預金	2,226,250
(2) 未収金及び未収収益	3,664,420
(3) 貸倒引当金()	31,413
(4) 貯蔵品	300,919
3 繰延資産	-
負債合計	27,315,890
1 固定負債	20,622,725
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	18,994,821
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	253,251
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,370,026
(7) リース債務	4,627
2 流動負債	4,259,874
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,222,579
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	96,233
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	808,977
(6) リース債務	8,767
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,008,738
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,433,291
(1) 長期前受金	8,498,809
(2) 長期前受金収益化累計額()	6,065,518
資本合計	483,500
1 資本金	6,176,539
2 剰余金	-5,693,039
(1) 資本剰余金	175,141
(2) 利益剰余金	-5,868,180
負債・資本合計	27,799,390
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	311,692	291,054
資本勘定繰入	132,199	135,999
計	443,891	427,053

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	26.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	香川県
				市町村・組合名	高松市
				病院名	みんなの病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	27,300 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災地輪		
診療科数	25	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	299	83.3	68.0	50.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	3.6	5.8
感染症	6	0.6	0.5	-
計	305	81.7	61.5	41.9
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	14.4	13.8

設立団体の状況		
人口(人)	420,748	
決算規模(千円)	154,356,762	
標準財政規模(千円)	94,096,407	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	93.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	77.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.2
修正医業収益(千円)	6,723,321

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,178,779			
1 経常収益	8,109,118			
(1) 医業収益	7,248,237			
入院収益	4,822,710			
外来収益	1,601,258			
診療収入計	6,423,968			
その他医業収益	824,269			
(うち他会計負担金)	524,916			
(2) 医業外収益	860,881			
(うち国・都道府県補助金)	2,343			
(うち他会計補助・負担金)	680,840			
(うち長期前受金戻入)	139,518			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	69,661			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,816,600			
2 経常費用	8,756,126			
(1) 医業費用	8,384,069			
職員給与費	4,348,605	60.0	55.7	57.0
材料費	1,421,726	19.6	24.7	24.5
(うち薬品費)	738,327	10.2	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	683,399	9.4	11.0	11.3
減価償却費	1,097,936	15.1	9.0	9.3
経費	1,488,226	20.5	23.3	22.1
(うち委託料)	690,383	9.5	11.5	11.1
研究研修費	23,504			
資産減耗費	4,072			
(2) 医業外費用	372,057			
(うち支払利息)	78,395	1.1	1.4	1.4
(3) 特別損失	60,474			
損益				
経常損益	-647,008			
純損益	-637,821			
累積欠損金	13,740,245			
経常収支比率	92.6		97.7	96.4
医業収支比率	86.5		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	14.9		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	16.6		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	14.7		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	78.8		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	20,321,440
1 固定資産	18,282,419
(1) 有形固定資産	17,176,446
(2) 無形固定資産	2,656
(3) 投資その他の資産	1,103,317
2 流動資産	2,039,021
(1) 現金及び預金	616,870
(2) 未収金及び未収収益	1,331,569
(3) 貸倒引当金()	2,509
(4) 貯蔵品	92,181
3 繰延資産	-
負債合計	20,673,562
1 固定負債	17,985,693
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,822,553
(2) その他の企業債	4,003
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,765,000
(6) 引当金	2,394,137
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,682,474
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	568,402
(2) その他の企業債	1,971
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	319,743
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	705,228
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,005,395
(1) 長期前受金	1,853,943
(2) 長期前受金収益化累計額()	848,548
資本合計	-352,122
1 資本金	13,951,091
2 剰余金	-14,303,213
(1) 資本金剰余金	116,349
(2) 利益剰余金	-14,419,562
負債・資本合計	20,321,440
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	352,122

備考：
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,236,667	1,205,756
資本勘定繰入	132,224	142,187
計	1,368,891	1,347,943

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	188.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	香川県
				市町村・組合名	高松市
				病院名	市民病院塩江分院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,621 m ²	指定病院の状況	へ		
診療科数	7	看護配置	20:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	87	34.9	48.6	53.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	87	34.9	48.6	53.6
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	420,748	
決算規模(千円)	154,356,762	
標準財政規模(千円)	94,096,407	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	93.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	77.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	59.0
修正医業収益(千円)	402,194

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	653,705			
1 経常収益	653,338			
(1) 医業収益	402,194			
入院収益	186,904			
外来収益	206,122			
診療収入計	393,026			
その他医業収益	9,168			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	251,144			
(うち国・都道府県補助金)	765			
(うち他会計補助・負担金)	243,766			
(うち長期前受金戻入)	2,675			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	367			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	698,772			
2 経常費用	697,613			
(1) 医業費用	681,127			
職員給与費	403,248	100.3	55.7	72.6
材料費	94,028	23.4	24.7	15.8
(うち薬品費)	77,291	19.2	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	9,847	2.4	11.0	5.6
減価償却費	14,451	3.6	9.0	11.1
経費	167,292	41.6	23.3	31.9
(うち委託料)	37,765	9.4	11.5	13.0
研究研修費	1,988			
資産減耗費	120			
(2) 医業外費用	16,486			
(うち支払利息)	1,086	0.3	1.4	1.7
(3) 特別損失	1,159			
損益				
経常損益	-44,275			
純損益	-45,067			
累積欠損金	679,317			
経常収支比率	93.7		97.7	97.4
医業収支比率	59.0		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	37.3		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	60.6		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	37.3		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	58.7		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	20,321,440
1 固定資産	18,282,419
(1) 有形固定資産	17,176,446
(2) 無形固定資産	2,656
(3) 投資その他の資産	1,103,317
2 流動資産	2,039,021
(1) 現金及び預金	616,870
(2) 未収金及び未収収益	1,331,569
(3) 貸倒引当金()	2,509
(4) 貯蔵品	92,181
3 繰延資産	-
負債合計	20,673,562
1 固定負債	17,985,693
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	12,822,553
(2) その他の企業債	4,003
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	2,765,000
(6) 引当金	2,394,137
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,682,474
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	568,402
(2) その他の企業債	1,971
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	319,743
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	705,228
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,005,395
(1) 長期前受金	1,853,943
(2) 長期前受金収益化累計額()	848,548
資本合計	-352,122
1 資本金	13,951,091
2 剰余金	-14,303,213
(1) 資本金剰余金	116,349
(2) 利益剰余金	-14,419,562
負債・資本合計	20,321,440
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	352,122

備考：
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	286,806	243,766
資本勘定繰入	4,832	4,832
計	291,638	248,598

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	188.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	香川県
				市町村・組合名	坂出市
				病院名	市立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	15,888 m ²	指定病院の状況	救臨感へ輪		
診療科数	23	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	190	80.1	76.6	77.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	7.9	-	-
計	194	78.6	76.5	77.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.2	11.4	11.9

設立団体の状況		
人口(人)	53,164	
決算規模(千円)	24,289,725	
標準財政規模(千円)	13,440,948	
財政力指数	0.85	
経常収支比率(%)	89.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.5
	将来負担比率(%)	86.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,939,311			
1 経常収益	5,872,799			
(1) 医業収益	5,518,305			
入院収益	3,128,968			
外来収益	2,114,138			
診療収入計	5,243,106			
その他医業収益	275,199			
(うち他会計負担金)	86,164			
(2) 医業外収益	354,494			
(うち国・都道府県補助金)	4,000			
(うち他会計補助・負担金)	181,210			
(うち長期前受金戻入)	148,932			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	66,512			
(うち他会計繰入金)	11,090			
総費用	5,929,253			
2 経常費用	5,922,606			
(1) 医業費用	5,629,958			
職員給与費	2,600,441	47.1	55.7	61.3
材料費	1,725,740	31.3	24.7	17.6
(うち薬品費)	1,081,656	19.6	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	644,084	11.7	11.0	8.2
減価償却費	476,527	8.6	9.0	10.2
経費	814,745	14.8	23.3	30.5
(うち委託料)	455,802	8.3	11.5	13.0
研究研修費	11,767			
資産減耗費	738			
(2) 医業外費用	292,648			
(うち支払利息)	65,403	1.2	1.4	1.6
(3) 特別損失	6,647			
損益				
経常損益	-49,807			
純損益	10,058			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.2		97.7	96.5
医業収支比率	98.0		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	4.6		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	4.8		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	4.7		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	94.6		85.7	80.7

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,236,557
1 固定資産	6,220,961
(1) 有形固定資産	5,904,029
(2) 無形固定資産	609
(3) 投資その他の資産	316,323
2 流動資産	5,015,596
(1) 現金及び預金	4,168,340
(2) 未収金及び未収収益	776,816
(3) 貸倒引当金()	2,475
(4) 貯蔵品	11,200
3 繰延資産	-
負債合計	8,059,286
1 固定負債	6,210,181
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,410,589
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	799,592
(7) リース債務	-
2 流動負債	865,383
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	361,029
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	153,492
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	314,829
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	983,722
(1) 長期前受金	1,926,800
(2) 長期前受金収益化累計額()	943,078
資本合計	3,177,271
1 資本金	2,011,253
2 剰余金	1,167,764
(1) 資本剰余金	8,592
(2) 利益剰余金	1,159,172
負債・資本合計	11,236,557
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.5
修正医業収益(千円)	5,432,141

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	338,796	278,464
資本勘定繰入	188,406	188,406
計	527,202	466,870

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：

- 修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	香川県
				市町村・組合名	さぬき市
				病院名	さぬき市民病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	14,884 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
診療科数	23	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	175	77.4	83.4	84.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	3.6	-	-
計	179	75.8	81.5	82.8
平均在院日数(一般病床のみ)		18.5	16.7	16.1

設立団体の状況		
人口(人)	50,272	
決算規模(千円)	23,932,500	
標準財政規模(千円)	15,074,263	
財政力指数	0.41	
経常収支比率(%)	96.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.7
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.7
修正医業収益(千円)	3,835,044

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,550,143			
1 経常収益	4,550,143			
(1) 医業収益	3,982,769			
入院収益	2,106,465			
外来収益	1,520,295			
診療収入計	3,626,760			
その他医業収益	356,009			
(うち他会計負担金)	147,725			
(2) 医業外収益	567,374			
(うち国・都道府県補助金)	3,258			
(うち他会計補助・負担金)	348,207			
(うち長期前受金戻入)	115,615			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,754,264			
2 経常費用	4,730,522			
(1) 医業費用	4,525,663			
職員給与費	2,724,573	68.4	55.7	61.3
材料費	934,415	23.5	24.7	17.6
(うち薬品費)	522,292	13.1	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	377,953	9.5	11.0	8.2
減価償却費	246,513	6.2	9.0	10.2
経費	594,994	14.9	23.3	30.5
(うち委託料)	297,461	7.5	11.5	13.0
研究研修費	22,777			
資産減耗費	2,391			
(2) 医業外費用	204,859			
(うち支払利息)	40,322	1.0	1.4	1.6
(3) 特別損失	23,742			
損益				
経常損益	-180,379			
純損益	-204,121			
累積欠損金	2,407,037			
経常収支比率	96.2		97.7	96.5
医業収支比率	88.0		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	10.9		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	12.5		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	10.9		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	85.7		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,901,709
1 固定資産	5,882,615
(1) 有形固定資産	4,896,109
(2) 無形固定資産	4,364
(3) 投資その他の資産	982,142
2 流動資産	1,019,094
(1) 現金及び預金	336,852
(2) 未収金及び未収収益	640,429
(3) 貸倒引当金()	1,432
(4) 貯蔵品	39,633
3 繰延資産	-
負債合計	4,502,431
1 固定負債	2,723,732
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,723,732
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	639,040
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	183,694
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	163,203
(6) リース債務	162
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	269,087
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,139,659
(1) 長期前受金	2,333,900
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,194,241
資本合計	2,399,278
1 資本金	4,698,795
2 剰余金	-2,299,517
(1) 資本剰余金	4,920
(2) 利益剰余金	-2,304,437
負債・資本合計	6,901,709
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	400,783	495,932
資本勘定繰入	81,368	82,644
計	482,151	578,576

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	60.4
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	香川県
	市町村・組合名	三豊市
	病院名	永康病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	8,843 m ²	指定病院の状況	救臨へ輪
診療科数	12	看護配置	15:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	50	61.7	33.4	37.0
療養	48	38.2	38.9	47.4
結核	-	-	-	-
精神	59	39.1	46.4	42.0
感染症	-	-	-	-
計	157	46.0	38.6	41.0
平均在院日数(一般病床のみ)		27.5	27.0	23.3

設立団体の状況		
人口(人)	65,524	
決算規模(千円)	33,656,668	
標準財政規模(千円)	20,097,037	
財政力指数	0.46	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,182,414			
1 経常収益	1,182,140			
(1) 医業収益	1,013,821			
入院収益	538,033			
外来収益	256,539			
診療収入計	794,572			
その他医業収益	219,249			
(うち他会計負担金)	150,769			
(2) 医業外収益	168,319			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	130,815			
(うち長期前受金戻入)	12,888			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	274			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,457,056			
2 経常費用	1,456,862			
(1) 医業費用	1,363,292			
職員給与費	882,177	87.0	55.7	61.3
材料費	143,695	14.2	24.7	17.6
(うち薬品費)	89,246	8.8	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	54,449	5.4	11.0	8.2
減価償却費	37,565	3.7	9.0	10.2
経費	275,822	27.2	23.3	30.5
(うち委託料)	129,892	12.8	11.5	13.0
研究研修費	24,033			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	93,570			
(うち支払利息)	2,824	0.3	1.4	1.6
(3) 特別損失	194			
損益				
経常損益	-274,722			
純損益	-274,642			
累積欠損金	39,750			
経常収支比率	81.1		97.7	96.5
医業収支比率	74.4		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	23.8		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	27.8		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	23.8		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	61.8		85.7	80.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,166,581
1 固定資産	2,752,991
(1) 有形固定資産	2,728,806
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	24,185
2 流動資産	1,413,590
(1) 現金及び預金	1,230,572
(2) 未収金及び未収収益	176,822
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	4,511
3 繰延資産	-
負債合計	1,821,244
1 固定負債	740,202
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	740,202
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	428,077
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	66,375
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	55,590
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	302,281
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	652,965
(1) 長期前受金	2,153,656
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,500,691
資本合計	2,345,337
1 資本金	208,869
2 剰余金	2,136,468
(1) 資本剰余金	1,637,514
(2) 利益剰余金	498,954
負債・資本合計	4,166,581
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	63.3
修正医業収益(千円)	863,052

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	271,009	281,584
資本勘定繰入	57,469	74,269
計	328,478	355,853

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	香川県
	市町村・組合名	三豊市
	病院名	西香川病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	11,789 m ²	指定病院の状況	臨
診療科数	3	看護配置	25:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	90	97.3	97.7	98.4
結核	-	-	-	-
精神	60	96.5	97.5	96.5
感染症	-	-	-	-
計	150	97.0	97.6	97.7
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	65,524	
決算規模(千円)	33,656,668	
標準財政規模(千円)	20,097,037	
財政力指数	0.46	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.7
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	219,797			
1 経常収益	219,797			
(1) 医業収益	1,888			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	1,888			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	217,909			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	187,541			
(うち長期前受金戻入)	30,324			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	194,894			
2 経常費用	194,894			
(1) 医業費用	186,482			
職員給与費	-	-	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	68,637	3635.4	9.0	10.2
経費	116,468	6168.9	23.3	30.5
(うち委託料)	109,879	5819.9	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	1,377			
(2) 医業外費用	8,412			
(うち支払利息)	8,412	445.6	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	24,903			
純損益	24,903			
累積欠損金	-			
経常収支比率	112.8		97.7	96.5
医業収支比率	1.0		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	85.3		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	9933.3		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	85.3		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	16.6		85.7	80.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,166,581
1 固定資産	2,752,991
(1) 有形固定資産	2,728,806
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	24,185
2 流動資産	1,413,590
(1) 現金及び預金	1,230,572
(2) 未収金及び未収収益	176,822
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	4,511
3 繰延資産	-
負債合計	1,821,244
1 固定負債	740,202
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	740,202
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	428,077
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	66,375
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	55,590
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	302,281
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	652,965
(1) 長期前受金	2,153,656
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,500,691
資本合計	2,345,337
1 資本金	208,869
2 剰余金	2,136,468
(1) 資本剰余金	1,637,514
(2) 利益剰余金	498,954
負債・資本合計	4,166,581
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	1.0
修正医業収益(千円)	1,888

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	189,407	187,541
資本勘定繰入	32,006	15,876
計	221,413	203,417

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	香川県
		市町村・組合名	土庄町
		病院名	国保土庄中央病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）		14,002
決算規模（千円）		9,350,877
標準財政規模（千円）		4,750,015
財政力指数		0.37
経常収支比率（%）		92.6
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	7.6
	将来負担比率（%）	13.8

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収益（千円）	-

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,749			
1 経常収益	11,749			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	11,749			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	11,749			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,749			
2 経常費用	11,749			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	-	-	9.0	10.2
経費	-	-	23.3	30.5
(うち委託料)	-	-	11.5	13.0
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	11,749			
(うち支払利息)	11,749	-	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.5
医業収支比率	-		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	-		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	7,833	11,749
資本勘定繰入	32,581	48,872
計	40,414	60,621

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	香川県
		市町村・組合名	小豆島町
		病院名	内海病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	14,862	
決算規模(千円)	9,283,813	
標準財政規模(千円)	5,416,162	
財政力指数	0.31	
経常収支比率(%)	96.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	49,590			
1 経常収益	49,590			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	49,590			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	49,590			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	49,590			
2 経常費用	49,590			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	-	-	9.0	10.2
経費	-	-	23.3	30.5
(うち委託料)	-	-	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	49,590			
(うち支払利息)	49,590	-	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		97.7	96.5
医業収支比率	-		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	-		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	32,928	49,590
資本勘定繰入	151,387	233,322
計	184,315	282,912

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	香川県
				市町村・組合名	綾川町
				病院名	綾川町国民健康保険陶病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	6,157 m ²	指定病院の状況	臨へ		
診療科数	9	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	35	82.0	83.0	77.6
療養	28	74.8	80.4	71.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	63	78.8	81.8	74.9
平均在院日数(一般病床のみ)		15.7	17.7	17.6

設立団体の状況		
人口(人)	23,610	
決算規模(千円)	9,822,749	
標準財政規模(千円)	6,570,478	
財政力指数	0.54	
経常収支比率(%)	83.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-2.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,320,915			
1 経常収益	1,320,915			
(1) 医業収益	1,225,146			
入院収益	510,671			
外来収益	595,427			
診療収入計	1,106,098			
その他医業収益	119,048			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	95,769			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	70,000			
(うち長期前受金戻入)	5,853			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,219,770			
2 経常費用	1,219,770			
(1) 医業費用	1,152,972			
職員給与費	721,107	58.9	55.7	72.6
材料費	119,708	9.8	24.7	15.8
(うち薬品費)	61,871	5.1	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	57,837	4.7	11.0	5.6
減価償却費	83,416	6.8	9.0	11.1
経費	223,864	18.3	23.3	31.9
(うち委託料)	132,966	10.9	11.5	13.0
研究研修費	2,917			
資産減耗費	1,960			
(2) 医業外費用	66,798			
(うち支払利息)	17,770	1.5	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	101,145			
純損益	101,145			
累積欠損金	-			
経常収支比率	108.3		97.7	97.4
医業収支比率	106.3		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	5.3		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	5.7		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	5.3		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	102.6		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,793,716
1 固定資産	1,263,783
(1) 有形固定資産	1,263,783
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	2,529,933
(1) 現金及び預金	2,364,536
(2) 未収金及び未収収益	160,321
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	5,076
3 繰延資産	-
負債合計	1,171,536
1 固定負債	832,990
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	832,990
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	172,728
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	60,975
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	46,324
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	47,717
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	165,818
(1) 長期前受金	366,141
(2) 長期前受金収益化累計額()	200,323
資本合計	2,622,180
1 資本金	1,590,616
2 剰余金	1,031,564
(1) 資本剰余金	4,046
(2) 利益剰余金	1,027,518
負債・資本合計	3,793,716
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	106.3
修正医業収益(千円)	1,225,146

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	77,834	70,000
資本勘定繰入	54,769	-
計	132,603	70,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	香川県
	市町村・組合名	三豊総合病院企業団
	病院名	三豊総合病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	46,828 m ²	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪
診療科数	28	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上~500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	478	79.7	81.5	83.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	5.2	4.0	4.5
計	482	79.1	80.8	83.2
平均在院日数(一般病床のみ)		14.1	13.8	14.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.7
修正医業収益(千円)	10,712,900

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,279,053			
1 経常収益	12,225,837			
(1) 医業収益	11,400,151			
入院収益	6,851,164			
外来収益	3,554,417			
診療収入計	10,405,581			
その他医業収益	994,570			
(うち他会計負担金)	687,251			
(2) 医業外収益	825,686			
(うち国・都道府県補助金)	101,894			
(うち他会計補助・負担金)	86,528			
(うち長期前受金戻入)	87,011			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	53,216			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,140,452			
2 経常費用	12,119,804			
(1) 医業費用	11,559,966			
職員給与費	6,298,945	55.3	55.7	54.0
材料費	2,766,295	24.3	24.7	26.9
(うち薬品費)	1,371,363	12.0	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,299,267	11.4	11.0	12.2
減価償却費	874,471	7.7	9.0	7.9
経費	1,531,549	13.4	23.3	19.2
(うち委託料)	866,435	7.6	11.5	9.3
研究研修費	86,114			
資産減耗費	2,592			
(2) 医業外費用	559,838			
(うち支払利息)	43,979	0.4	1.4	1.3
(3) 特別損失	20,648			
損益				
経常損益	106,033			
純損益	138,601			
累積欠損金	96,536			
経常収支比率	100.9		97.7	98.8
医業収支比率	98.6		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	6.3		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	6.8		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	6.3		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	94.5		85.7	89.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	28,018,167
1 固定資産	19,134,617
(1) 有形固定資産	10,206,005
(2) 無形固定資産	17,772
(3) 投資その他の資産	8,910,840
2 流動資産	8,883,550
(1) 現金及び預金	7,109,108
(2) 未収金及び未収収益	1,721,697
(3) 貸倒引当金()	10,568
(4) 貯蔵品	63,313
3 繰延資産	-
負債合計	5,202,197
1 固定負債	2,582,185
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,855,051
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	727,134
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,222,014
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	175,237
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	448,556
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	554,272
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,397,998
(1) 長期前受金	3,381,436
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,983,438
資本合計	22,815,970
1 資本金	15,618,000
2 剰余金	7,197,970
(1) 資本金剰余金	191,230
(2) 利益剰余金	7,006,740
負債・資本合計	28,018,167
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,407,426	773,779
資本勘定繰入	231,331	-
計	1,638,757	773,779

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)	都道府県名	香川県
	市町村・組合名	小豆島中央病院企業団
	病院名	小豆島中央病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	17,850 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災
診療科数	13	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	185	69.9	65.0	66.7
療養	40	75.0	65.1	55.1
結核	5	5.1	12.2	8.0
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	234	68.2	62.8	62.3
平均在院日数(一般病床のみ)		12.5	12.3	13.1

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	83.4
修正医業収益(千円)	3,522,571

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,469,537			
1 経常収益	4,360,201			
(1) 医業収益	3,592,571			
入院収益	1,909,413			
外来収益	1,384,052			
診療収入計	3,293,465			
その他医業収益	299,106			
(うち他会計負担金)	70,000			
(2) 医業外収益	767,630			
(うち国・都道府県補助金)	65,033			
(うち他会計補助・負担金)	384,955			
(うち長期前受金戻入)	187,733			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	109,336			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,559,649			
2 経常費用	4,541,786			
(1) 医業費用	4,224,039			
職員給与費	2,216,498	61.7	55.7	59.8
材料費	665,112	18.5	24.7	19.0
(うち薬品費)	354,755	9.9	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	264,031	7.3	11.0	9.2
減価償却費	524,528	14.6	9.0	9.9
経費	807,161	22.5	23.3	27.7
(うち委託料)	294,133	8.2	11.5	12.4
研究研修費	9,821			
資産減耗費	919			
(2) 医業外費用	317,747			
(うち支払利息)	11,597	0.3	1.4	1.5
(3) 特別損失	17,863			
損益				
経常損益	-181,585			
純損益	-90,112			
累積欠損金	1,291,162			
経常収支比率	96.0		97.7	96.3
医業収支比率	85.1		88.1	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	10.4		12.3	13.3
他会計繰入金対医業収益比率	12.7		14.5	15.9
他会計繰入金対総収益比率	10.2		12.4	13.4
実質収益対経常費用比率	86.0		85.7	83.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,657,937
1 固定資産	6,628,040
(1) 有形固定資産	6,043,495
(2) 無形固定資産	70,609
(3) 投資その他の資産	513,936
2 流動資産	1,029,897
(1) 現金及び預金	152,322
(2) 未収金及び未収収益	745,649
(3) 貸倒引当金()	660
(4) 貯蔵品	23,617
3 繰延資産	-
負債合計	5,497,655
1 固定負債	2,870,509
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,133,605
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	180,000
(6) 引当金	552,990
(7) リース債務	3,914
2 流動負債	523,239
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	117,603
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	127,304
(6) リース債務	2,729
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	154,431
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,103,907
(1) 長期前受金	2,885,330
(2) 長期前受金収益化累計額()	781,423
資本合計	2,160,282
1 資本金	3,451,444
2 剰余金	-1,291,162
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-1,291,162
負債・資本合計	7,657,937
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	652,170	454,955
資本勘定繰入	93,296	15,000
計	745,466	469,955

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	35.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。